



【日常が帰ってきた。】

3年も人々を苦しめた新型コロナウイルスも、ついに日本でも分類上5類に変更され、ようやく日常が少し戻ってきたような感覚を感じます。郊外の公園型施設や観光地、イベントやライブなどもコロナ前と同じくらいの開催頻度と参加者の数で、土日ともなれば今までの我慢の反動を表すかようにどこも大変賑わっています。感染者も減ってはいますが、ウイルス自体がなくなったわけでも拡散力が弱まったわけでもなく、おそらくはワクチン接種効果とある程度の集団免疫の獲得による軽症化、無症状化によるものでしょう。以前ほどの猛威をふるう事はないと信じたいですが、接種後数ヶ月でワクチンの効果が低くなることはわかっているので、今後はもしかしたらインフルエンザのように季節や流行に応じて接種を推奨していくようになるのかもしれないね。完全にコロナ対策をやめてしまうのではなく、一定レベルのマスク配慮や手洗い消毒などを続けたいと思います。6月は暑さと湿気で睡眠時間が少なくなりがちで雨も相まって交通事故も多い季節です。我々も体調管理には気をつけ、事故など起こさぬよう注意しながら皆様のお荷物を運んで参りたいと思います。



今年もうなぎ!
草津港市場

今日も頑張って運んでます!



明日も頑張って運びます!



広島～江田島中町を結ぶ瀬戸ブルー

Photo by Akira Adachi

瀬戸内フォトグラファー 足立輝の 瀬戸内海探訪

広島市南区の広島港と、江田島市の中心地となる中町港を結ぶ通称中町航路に新造船が投入されました。江田島市の主導で船の設計がなされ、運航は旧来より運航委託を請け負う瀬戸内シーラインとなります。両地を結ぶ航路にはスーパー千鳥、ニュー千鳥、ロイヤル千鳥という200人乗りの高速船が運航していましたが、老朽化による新造船入れ替え計画のもとこの2023年5月下旬に就航いたしました。双胴船の前方部分は少し前に張り出したバルバスパウ形状で波や潮流の影響を最小限に抑え、燃費、速度ともに高い性能を備えています。建造は瀬戸内クラフトというアルミ船専門の造船所で、今年の広島サミットで首脳を海上輸送した「シースピカ」を建造した造船所としても知られています。

不用品処分! 無料見積りします! →→→

メッセンジャー広島

検索